

現研
パワーアップ
研究セミナー
31

ダウントレンドの突破戦略

—新教育モデルの構築と実践—

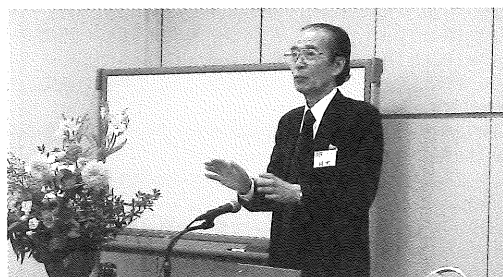
■講師 (株)現代経営技術研究所

所長 鈴木 成裕

■日時 2002年10月24日(木) 13:15~16:40

■場所 東京国際フォーラム G610号室

*裏面地図をご参照ください。



セッションⅠ 見直しのない教育体系は有害無益 (成長力原理の転換)

13:15~15:00

- 放置すれば間に合わない人材群の育成
- 緊迫する経済環境の現実一裏の論理
- 再び歴史の転換
- 新経済圏の脅威と期待
- 企業、組織、個人の価値

<コーヒーブレイク 20分>

※参加者名刺交換

セッションⅡ 質疑応答—参加者と討議

15:20~15:35

- 全社教育体系の改革の推進
- 人的再配置との関係
- ほか…

セッションⅢ 個別教育のモデルデザイン

15:35~16:30

- 新経営原理からはじめる—労働動機形成モデル
- 知力開発研修モデル
- 業務能力開発モデル
- コンセプト力構築モデル
- 交渉力強化モデル

ほか、社会貢献の考え方、目標達成、情報力強化、組織統合力強化等に関する概要と改革点の指摘

セッションⅣ 2003年教育研修の推進

16:30~16:40

- この年、何が主題か。30代研修、開発力研修、労働動機確立研修のポイント
- 自らの混迷を打破し、勢いを回復するリーダーへの期待

※参加者から提起された問題については、時間が限られているため、後日フォローアップ会合を持つ場合があります。

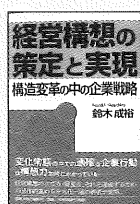
講師の言葉

広く企業活動全般を見ると、遅れている活動の第一は教育・研修の刷新である。情報化社会の激変に当面し、企業の打撃に当面し、従来の方針と異なるリストラの反動に当面し、厳しい企業倫理の批判に当面し、しかも社員の価値観の転換に当面し、本格的な教育転換に確信がなく、その刷新を先延ばしにしているのが現実であると思う。その結果の現在、および将来のダメージは深刻である。まずは、教育ニーズの再認知、必要の確信である。本セミナーはそのため、いくつかの見落としと新方式の中核となる方式を提示する。

◆ 講師紹介 ◆

鈴木 成裕(すずきしげひろ)

(株)現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)『経営転換の構想』(同文館出版)『戦略教育』(マネジメント社)『企業意思のリデザイン』(講談社)『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)他、多数。



鈴木成裕著『経営構想の策定と実現』
(産能大学出版部刊)



鈴木成裕著『企業意思のリデザイン』
(講談社刊)

◆ 現研の沿革 ◆

社 名 株式会社現代経営技術研究所(現研)
Genken Institute of Management Co., LTD
所 長 鈴木成裕
設 立 1965年7月1日
事 業 コンサルティング、システム開発、プロジェクト指導、教育、リサーチ

現研37周年

現研
(株)現代経営技術研究所

[本部]〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-25日商連ビル TEL03-3813-7338(代) FAX03-3813-6964 E-mail:hongo@gen-ken.co.jp
[経営調査部分室]〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル TEL03-3813-7910(代) FAX03-3813-7920
[ロンドン事務所] GORDON HOUSE, 6 LISSENDEN GARDENS, LONDON NW5 1LX U.K. TEL44-20-7482-8813